

県民が県政に望むことは… 「県政世論調査」(2014年度)より

- ①医療・介護の充実 30.2%
- ②防犯・防災体制づくり 24.0%
- ③保育所など、仕事と家庭を両立させる制度の整備 19.5%

※「新幹線新駅」などの大型事業については、そもそも設問自体がありません。

日本共産党の議席がゼロの県議会で…

自公民「オール与党」がやったこと

県民の願いを締め出し

1万5千人以上が署名した県立学校存続の請願をまともに扱わず、統廃合に賛成。子どもが2倍以上に増えた県立特別支援学校の新設を求めた請願は賛成議員がなく、門前払い。消費税8%増税に便乗した県立施設使用料など最高20%値上げにも賛成。

医療・福祉を冷たくカット

※順位は「統計でみる都道府県のすがた」より

- ▶65歳～69歳医療費負担が2倍に(県独自の福祉医療費助成制度を改悪)
- ▶母子保健対策費カット(3481万円)
- ▶ひとり親家庭福祉対策費カット(9125万円)
- ▶きぬがさ荘を廃止、老人ホームの数は全国46位

“お寒い”子育て支援

- ▶子どもの医療費助成は最低クラス

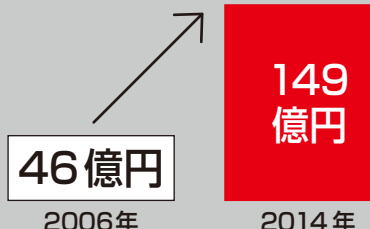
	外来	入院
兵庫	中卒	中卒
三重	小卒	小卒
京都	小卒	小卒
福井	小3	小3
滋賀	就学前	就学前

- ▶保育所も足りない
- ・保育所数 (人口当たり) 36位

防災も後回し

- ▶消防団員数 (人口比) 40位

県が自由に使える**財政調整基金は149億円、8年間で3倍に**



財政調整基金とあわせて、県にはためこみ金が252億円あります。(2014年度末見込み)

高校統廃合もゴリ押し

- ▶教育予算も全国下位
- ・公立小学校費 (県・市町村) 39位
 - ・公立中学校費 (同) 37位
 - ・公立高等学校費 (同) 40位
 - ・特殊学校費 (公立、同) 41位

県民の暮らし削って貯めこんで

日本共産党の議席とりもどし 県民の願いが生きる政治を

日本共産党はみなさんの願いに全力でこたえます

高い国民健康保険料(税)の1人1万円引き下げ

県費助成の増額とともに、国庫負担を増やすよう国に求めます。

きびしいとりたてをやめさせます

子どもの医療費を中学卒業まで無料に

東京、兵庫、鳥取などで実施。人口減ストップのキメ手です。

「ブラック企業」調査 若者の命と雇用を守る

県の責任で、ブラック企業の調査を行い指導させます。

「生涯ハケン」、「残業代ゼロ」にノー!

住宅・商店街リフォーム助成制度を

秋田県では14億円の補助で、230億円の仕事おこしに。

特養ホーム・保育所を増設 暮らし・地域に役立つ公共事業を

待機者解消、雇用創出、関連業者が潤って、「1石3鳥」。介護報酬の削減ストップ、職員の待遇改善を。

TPPからの撤退を コメ価格暴落ストップ

基幹産業と位置づけ、価格・所得保障の充実で農業の再生を。

特別支援学校の分離・新設 少人数学級を高校まで拡大

財源は——
貯めこみ金の一部と
5000億円の県予算を使う

- 国保料1人1万円引き下げに32億円。
- 中卒までの医療費無料は14億円。

経験豊富

若い世代

ベストチームでがんばります

5人を必ず県政へ

●大津市(定数10)



前県議会議員
ふしきみちよ・前

●草津市(定数4)



大津市議
きのせ明子・新

草津市議
藤井みえ子・新

●東近江市・日野町・愛荘町(定数5)



地区県政対策委員長
松本としひろ・新

●長浜市(定数4)



前長浜市議
杉本としたか・新

●5議席で、議案提案権を獲得。「交渉会派」になって代表質問もできるようになります。5つの常任委員会すべてに出席し、県政のすみずみに目が届きます。

日本共産党で取り戻そう 県議会に「3つの力」

①県民の願いを届ける力

県立高校の統廃合や特別支援学校問題では、現地で関係者から実情を聞き、党の提案を県教育長に申し入れ。豪雨災害ではただちに現地に行き、申し入れ。高校統廃合で意見書を出した政党は、県の記録でも日本共産党だけです。

②県民の立場でチェックする力

日本共産党は、予算、決算の問題点を明らかにし、監査委員からの日本共産党排除も打ち破ってきました。議会の政務調査費(政務活動費)も、対象を1円以上、領収書の添付を実現しました。

③県民とともに県政を動かす力

子どもの医療費助成制度の拡充、びわこ空港や新幹線新駅の中止など、党派をこえて県民と力をあわせて、政治を動かしてきました。